

平成 21 年度コベネフィット CDMモデル事業採択案件概要

事業名	マレーシア、Sime Darby社Kempas工場廃液処理工程からのメタンガス回収利活用によるCDM事業		
事業者	名称	(代表事業者) 株式会社スマートエナジー (共同事業者) Sime Darby Energy社	
	名称 所在地	Kempas Palm Oil Mill Jasin, Melaka, Malaysia	
事業費等	事業期間	事業費	補助金交付額
	2009～2010年度予定	約6.7億円	約3.3億円
温室効果ガス排出総削減見込量	448,654 CO ₂ トン (事業手続き中のため今後変更となることがある。)		
事業概要	<p>現在、工場では、パーム油搾油工場からの排水は嫌気性オープンラグーンへ放流され、4～5の処理池を経て河川放流されている。それぞれの過程においてメタンガスが発生しており、現地では、大気汚染、悪臭対策に苦慮している。また、排水処理が不十分なため、河川の水質の劣化により生活環境の悪化を招いている。</p> <p>本プロジェクトでは密閉型の発酵槽を導入し、メタンガスを回収する。回収したメタンガスを燃料として発電・売電するとともに、発生した余剰汚泥を曝気処理することにより排水の水質改善を図る。</p>		
その他の効果等	<p>ホスト国ではパーム油の搾取が盛んであること、ラグーン方式による排水処理が一般的であり、同様の排水を行う設備が多数存在することから、本プロジェクトはパーム油搾取工場にとってのモデル事業となる。本プロジェクトが順調に稼動すれば、他の工場への展開が十分に考えられる。さらには、マレーシアと同様のラグーン方式によって排水処理を行っているインドネシア等各国への展開が期待される。</p>		